

**(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の
施設の役割を踏まえた利用者等へのサービス
の在り方に関する調査研究事業
(結果概要)(案)**

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

1. 調査の目的

平成27年度介護報酬改定においては、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、介護老人保健施設で提供される在宅復帰・在宅療養支援機能の取組みの更なる評価を行うとともに、介護療養病床で提供される日常的な医学管理・看取りターミナルケアの機能等を療養機能強化型として評価した。

これらの見直しが介護老人保健施設及び介護療養病床のサービスにどのような影響を与えたかを調査するとともに、平成30年度介護報酬改定に向け、医療提供を目的とした介護保険施設の役割をより明確化するため、それぞれの施設類型における利用者の状態、医療・介護の提供内容等について調査を行う。

2. 調査方法

調査方法はいずれも調査票を用いた郵送調査。厚生労働省より提供を受けた全国の事業所・施設名簿をもとに対象事業所・施設を抽出

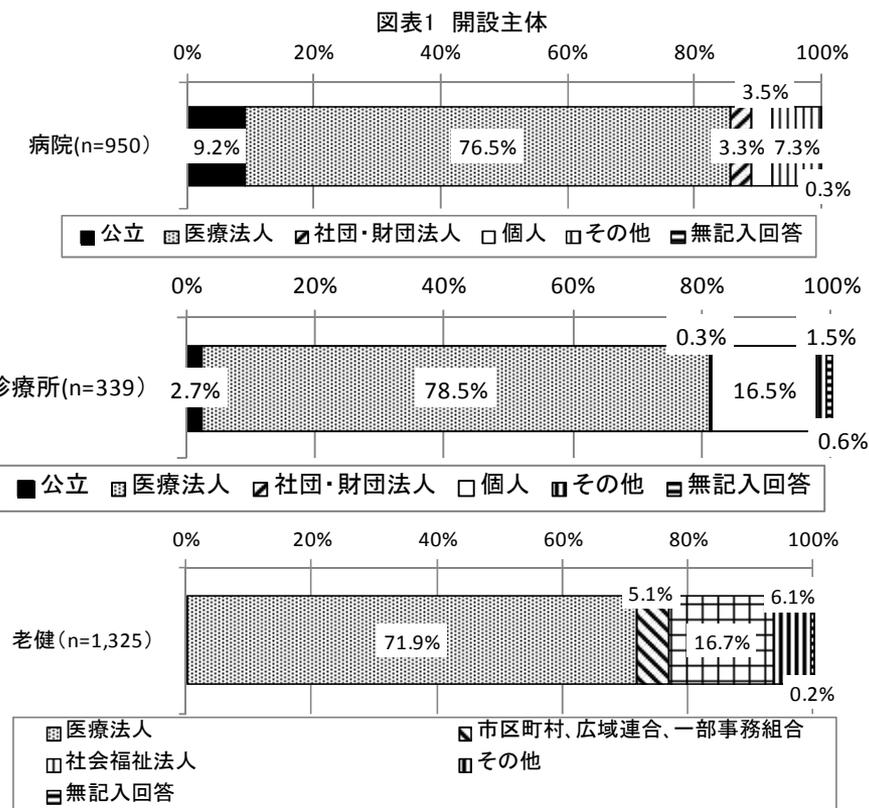
	調査対象・回収状況
①介護老人保健施設調査	【母集団】全国の介護老人保健施設4,225事業所 【発出数】全数(被災地を除く、4,210事業所) 【回収数】1,397事業所【回収率】33.2%【有効回収数】1,325事業所【有効回収率】31.5%
②病院調査	【母集団】全国の療養病棟入院基本料1または2を算定する病棟を有する病院・介護療養型医療施設3,458施設 【発出数】全数(被災地を除く、3,443施設) 【回収数】1,024施設【回収率】29.7%【有効回収数】950施設【有効回収率】27.6%
③診療所調査	【母集団】全国の療養病床を有する診療所878施設 【発出数】全数(被災地を除く、872施設) 【回収数】405施設【回収率】46.4%【有効回収数】339施設【有効回収率】38.9%
④入所者・入院患者調査(含むタイムスタディ調査)	【対象者の抽出方法】①②の対象施設の入院患者・入所者のうち、誕生日が14日の人全員 【回収数】3,898件 【有効回収数】2,737件

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

3. 調査結果概要

1) 回答施設の基本情報

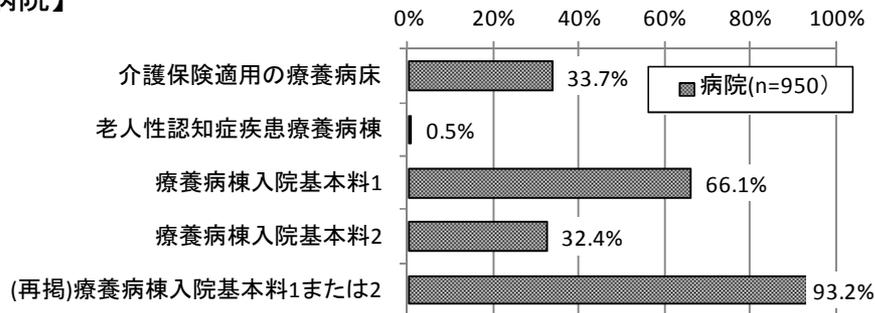
○病院の開設主体は、「医療法人」が76.5%、「公立」が9.2%であった。診療所は、「医療法人」が78.5%、「個人」が16.5%であった。介護老人保健施設（以下、老健）は、「医療法人」が71.9%、「社会福祉法人」が16.7%であった。



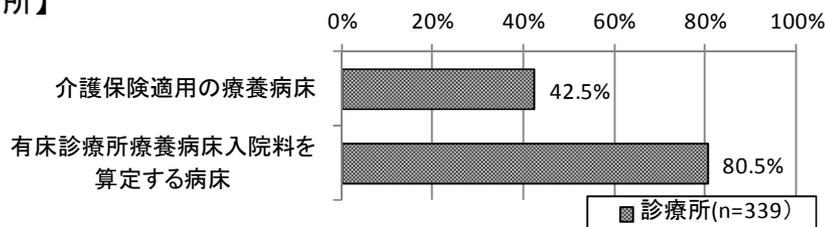
○各病床の種類を有している病院の割合は、「療養病棟入院基本料1」が66.1%、「介護保険適用の療養病床」が33.7%であった。診療所は、「有床診療所療養病床入院料を算定する病床」が80.5%、「介護保険適用の療養病床」が42.5%であった。

図表2 【病院・診療所】各病床の種類を有している病院・診療所の割合(複数回答)

【病院】

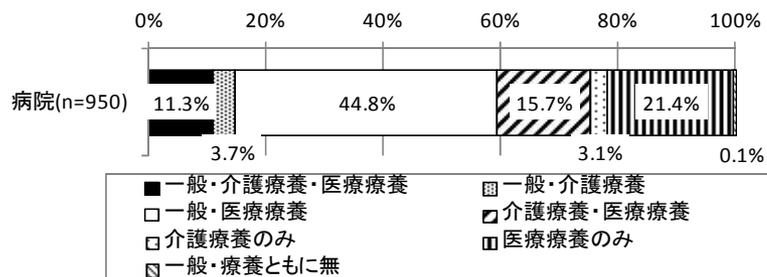


【診療所】



○病院が有する病床種別の組み合わせは、「一般・医療療養」の割合が44.8%であった。

図表3 【病院】病床種別の組み合わせの状況

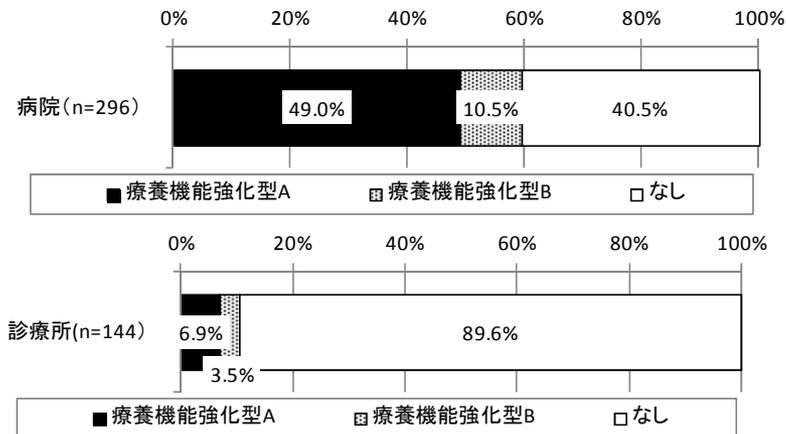


※「医療法人」は医療法人社団、医療法人財団、社会医療法人を指し、「社団・財団法人」には「医療法人」は含まない。

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

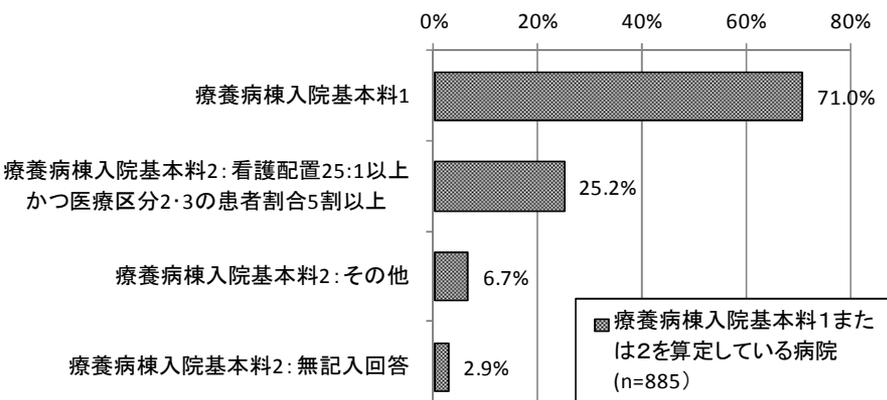
○療養機能強化型の届出状況は、病院では「療養機能強化型A」が49.0%、「療養機能強化型B」が10.5%であった。
診療所では「療養機能強化型A」が6.9%、「療養機能強化型B」が3.5%であった。

図表4 【病院・診療所：介護保険適用療養病床】療養機能強化型の届出状況



○療養病棟入院基本料1または2を算定している病院において、「療養病棟入院基本料1」を有している病院は71.0%、「療養病棟入院基本料2のうち、看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合が5割以上」は25.2%であった。

図表5 【病院：療養病棟入院基本料1または2を算定している病院】有している病棟の種類別(複数回答)



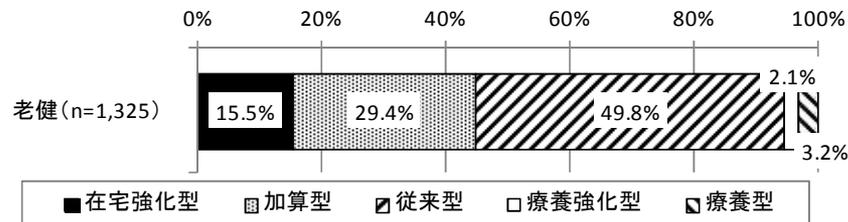
○病床数100床あたりの看護職員数(常勤換算数)は、「療養機能強化型」で平均28.8人、「療養病棟入院基本料1」で35.0人であった。

図表6 【病院】病床数100床あたりの看護職員数(常勤換算数)

	n	平均	標準偏差	中央値
療養機能強化型	174	28.8	21.8	23.8
その他の介護療養病床	117	41.9	41.3	28.0
療養病棟入院基本料1	576	35.0	20.9	31.3
療養病棟入院基本料2：看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	217	39.4	46.6	28.2
療養病棟入院基本料2：その他	58	34.0	34.7	26.7

○老健の介護報酬上の届出は、「在宅強化型」が15.5%、「加算型」が29.4%、「従来型」が49.8%であった。

図表7 【老健】介護報酬上の届出



注)加算型は在宅復帰・在宅療養支援機能加算届出有の施設、従来型は加算型を除く

○定員100人あたりの看護職員数(常勤換算数)は、「在宅強化型」で平均12.6人であった。

図表8 【老健】定員100人あたりの看護職員数(常勤換算数)

	n	平均	標準偏差	中央値
在宅強化型	193	12.6	3.4	12.0
加算型	352	12.2	4.3	11.5
従来型	621	11.6	5.6	10.9
療養型	39	22.1	10.6	18.4
療養強化型	28	22.2	9.4	21.4

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

○病院で「介護療養病床」を有する場合、当該病床数は平均60.6床、「療養病棟入院基本料1」を有する場合、当該病床数は平均67.6床であった。診療所では「介護療養病床」を有する場合、当該病床数は平均9.2床、「医療療養病床」を有する場合、当該病床数は平均8.9床であった。

図表9 【病院】介護療養型医療施設の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
介護療養病床	296	60.6	57.3	45.0
【再掲】療養機能強化型	176	73.0	57.5	58.5
【再掲】療養機能強化型以外	120	42.4	52.2	30.0
老人性認知症疾患療養病棟	4	72.5	32.0	60.0

図表10 【病院】療養病棟入院基本料1・2を有する病院の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料1	584	67.6	51.2	51.0
療養病棟入院基本料2	280	50.0	36.1	45.0
【再掲】看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	221	49.1	37.0	44.0
【再掲】その他	59	53.3	32.8	46.0

図表11 【診療所】介護療養病床の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
介護療養病床	140	9.2	4.6	8.0

図表12 【診療所】医療療養病床の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
医療療養病床	245	8.9	5.0	8.0

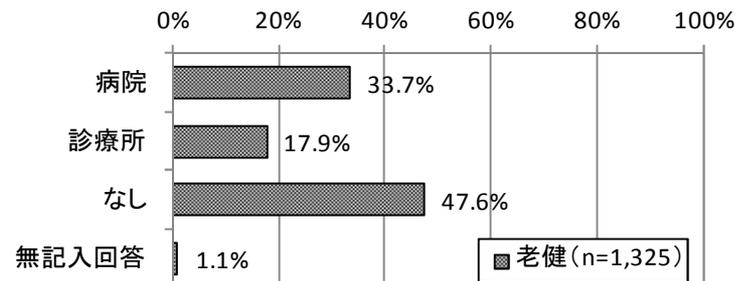
○老健の入所定員は、「在宅強化型」で平均88.3人、「加算型」で平均88.4人、「従来型」で平均88.7人であった。

図表13 【老健】入所定員(単位:人)

	n	平均	標準偏差	中央値
全体	1,260	86.7	33.2	98.0
在宅強化型	195	88.3	27.0	98.0
加算型	366	88.4	32.8	95.5
従来型	631	88.7	32.6	100.0
療養強化型	28	55.8	45.3	34.5
療養型	40	53.2	37.6	44.0

○老健の併設医療施設は、「病院」が33.7%、「診療所」が17.9%であった。介護報酬の届出等別では、在宅強化型では「病院」が43.7%、療養強化型では「診療所」が53.6%、療養型では「診療所」が57.1%であった。

図表14 【老健】併設医療施設(複数回答)



	n	病院	診療所	なし	無記入回答
全体	1,325	446	237	631	15
	100.0%	33.7%	17.9%	47.6%	1.1%
在宅強化型	206	90	32	83	2
	100.0%	43.7%	15.5%	40.3%	1.0%
加算型	389	138	50	197	5
	100.0%	35.5%	12.9%	50.6%	1.3%
従来型	660	195	116	343	8
	100.0%	29.5%	17.6%	52.0%	1.2%
療養強化型	28	9	15	4	0
	100.0%	32.1%	53.6%	14.3%	0.0%
療養型	42	14	24	4	0
	100.0%	33.3%	57.1%	9.5%	0.0%

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

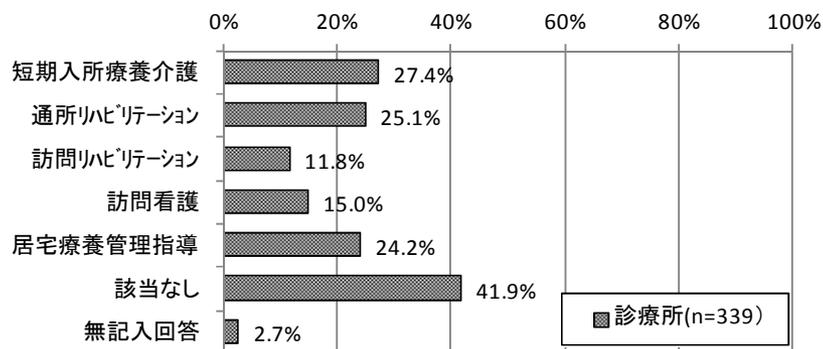
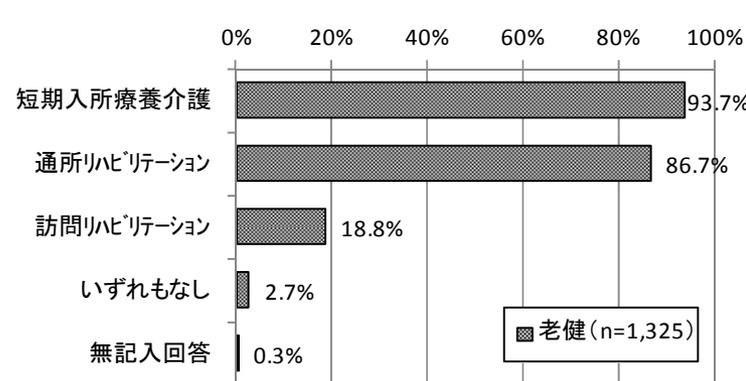
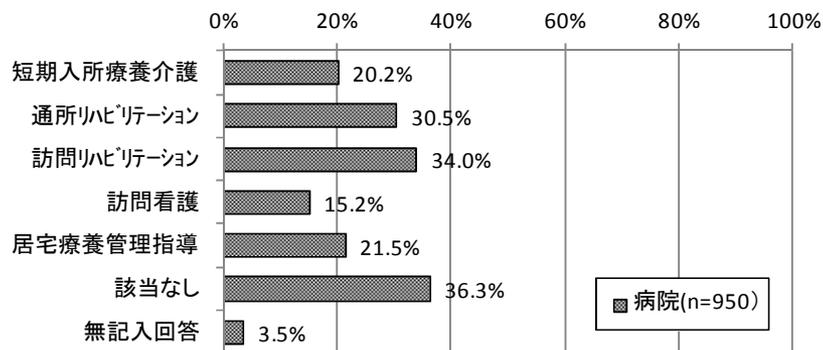
○併設サービスは、

病院では「該当なし」が36.3%、「訪問リハビリテーション」が34.0%、「通所リハビリテーション」が30.5%であった。

診療所では、「該当なし」が41.9%、「短期入所療養介護」が27.4%、「通所リハビリテーション」が25.1%であった。

老健では、「短期入所療養介護」が93.7%、「通所リハビリテーション」が86.7%、「訪問リハビリテーション」が18.8%であった。

図表15 併設サービス(複数回答)



【老健】

	n	短期入所療養介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション	いずれもなし	無記入回答
全体	1,325	1,242	1,149	249	36	4
	100.0%	93.7%	86.7%	18.8%	2.7%	0.3%
在宅強化型	206	204	192	62	0	0
	100.0%	99.0%	93.2%	30.1%	0.0%	0.0%
加算型	389	370	361	81	4	2
	100.0%	95.1%	92.8%	20.8%	1.0%	0.5%
従来型	660	621	573	100	15	0
	100.0%	94.1%	86.8%	15.2%	2.3%	0.0%
療養強化型	28	17	7	1	8	1
	100.0%	60.7%	25.0%	3.6%	28.6%	3.6%
療養型	42	30	16	5	9	1
	100.0%	71.4%	38.1%	11.9%	21.4%	2.4%

	n	短期入所療養介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	該当なし	無記入回答
介護療養病床を有する病院	320	181	119	134	61	97	62	7
	100.0%	56.6%	37.2%	41.9%	19.1%	30.3%	19.4%	2.2%
介護療養病床を有する診療所	144	83	48	22	28	43	31	3
	100.0%	57.6%	33.3%	15.3%	19.4%	29.9%	21.5%	2.1%

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

2) 老健の平均在所日数

○老健の平均在所日数(中央値)は、在宅強化型では203.1日、従来型では457.4日、療養型では398.2日であった。

図表16【老健】平均在所日数、ベッド回転率、ベッド利用率(中央値)

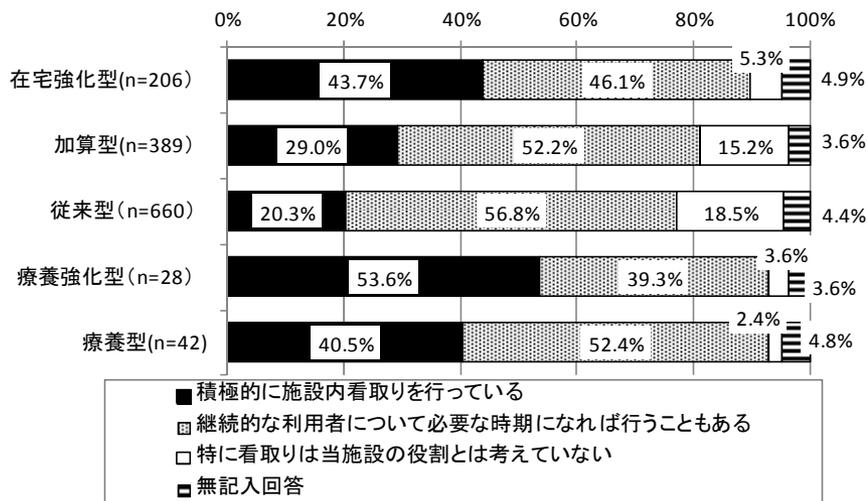
	n	平均在所日数(中央値)(平成29年5月~7月)	ベッド回転率(中央値)(平成29年5月~7月)	n	ベッド利用率(中央値)(平成29年8月2日時点)
在宅強化型	193	203.1日	15.0%	195	88.9%
加算型	342	273.9日	11.1%	366	90.4%
従来型	551	457.4日	6.6%	631	93.1%
療養強化型	21	439.9日	6.9%	28	100.0%
療養型	33	398.2日	7.6%	40	93.5%

3) 老健の看取りについての方針

○老健の看取りについての方針として、「積極的に施設内看取りを行っている」が在宅強化型では43.7%、従来型では20.3%、療養型では40.5%であった。

「特に看取りは当施設の役割とは考えていない」は在宅強化型では5.3%、従来型では18.5%、療養型では2.4%であった。

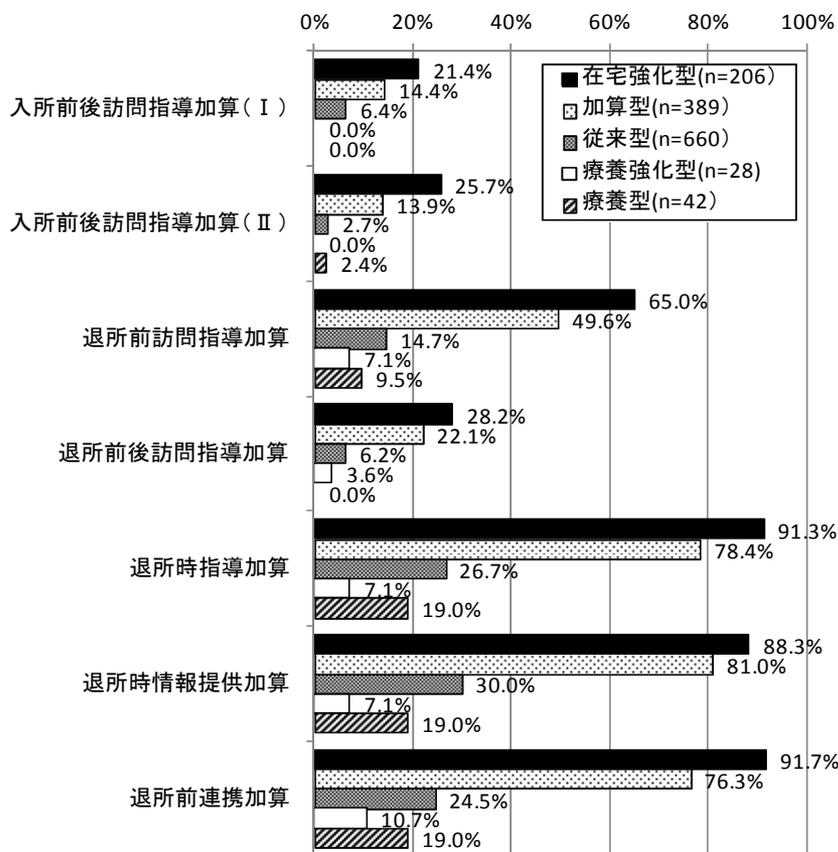
図表17【老健】看取りについての方針



4) 老健の加算の算定状況

○老健において、平成29年7月分として算定した加算は、「在宅強化型」で「退所前連携加算」が91.7%、「退所時指導加算」が91.3%であった。

図表18【老健】算定した加算(平成29年7月)



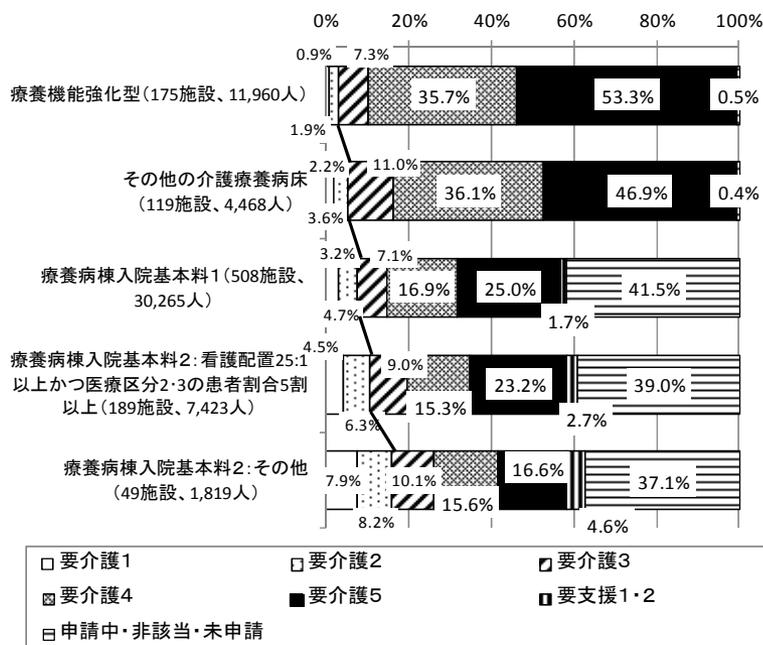
(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

5) 病院の入院患者・老健の入所者の状況

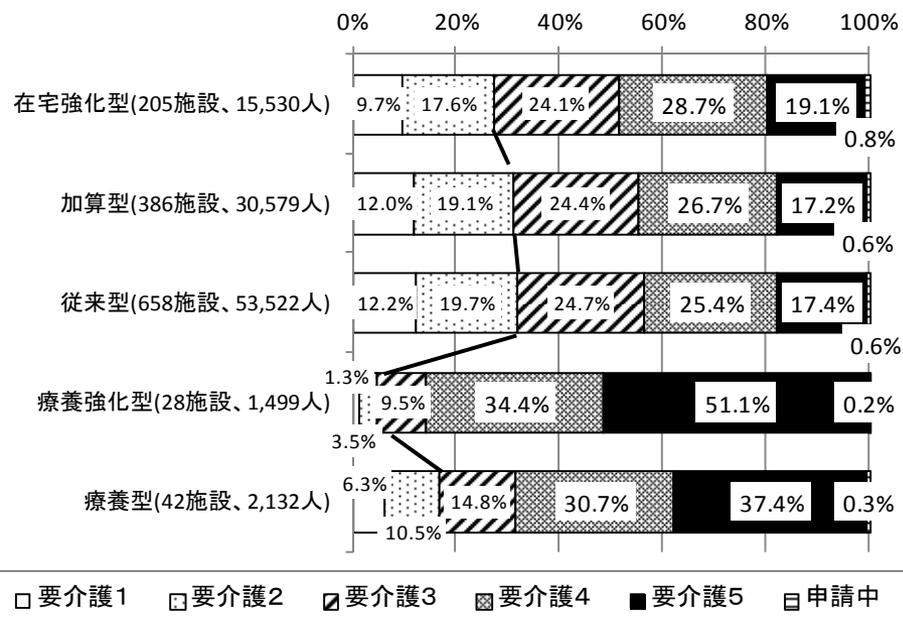
○病院の入院患者の要介護度は、療養機能強化型では「要介護5」が53.3%、「要介護4」が35.7%であった。その他の介護療養病床では、「要介護5」が46.9%、「要介護4」が36.1%であった。療養病棟入院基本料1では「申請中・非該当・未申請」が41.5%、「要介護5」が25.0%であった。

○老健の入所者の要介護度は、在宅強化型では「要介護4」が28.7%、「要介護3」が24.1%であった。従来型では「要介護4」が25.4%、「要介護3」が24.7%であった。療養型では、「要介護5」が37.4%、「要介護4」が30.7%であった。

図表19 【病院】要介護度



図表20 【老健】要介護度



(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

○処置等の実施割合について、

「胃ろう・腸ろうによる栄養管理」は介護療養病床で20.3%、療養病棟入院基本料1で20.9%、在宅強化型で5.8%、療養型(老健)で18.9%であった。

「経鼻経管栄養」は、介護療養病床で22.9%、療養病棟入院基本料1で22.0%、在宅強化型で1.2%、療養型(老健)で8.9%であった。

「カテーテルの管理」は、介護療養病床で14.2%、療養病棟入院基本料1で23.5%、在宅強化型で4.8%、療養型(老健)で9.3%であった。

「喀痰吸引」は、介護療養病床で32.0%、療養病棟入院基本料1で55.9%、在宅強化型で6.3%、療養型(老健)で18.5%であった。

「静脈内注射」は、介護療養病床で12.8%、療養病棟入院基本料1で21.2%、在宅強化型で5.3%、療養型(老健)で8.1%であった。

「浣腸」は、介護療養病床で25.3%、療養病棟入院基本料1で24.9%、在宅強化型で10.6%、療養型(老健)で12.5%であった。

「排便」は、介護療養病床で29.3%、療養病棟入院基本料1で28.8%、在宅強化型で10.3%、療養型(老健)で24.5%であった。

「リハビリテーション」は、介護療養病床で69.3%、療養病棟入院基本料1で62.5%、在宅強化型で81.5%、療養型(老健)で87.6%であった。

「ターミナルケア」は介護療養病床で12.9%、療養病棟入院基本料1で5.7%、在宅強化型で2.5%、療養型(老健)で2.5%であった。

【病院】

図表21 処置等の実施割合(単位:%)

【老健】

	介護療養病床			療養病棟入院基本料1	療養病棟入院基本料2	【再掲】看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	
	【再掲】療養機能強化型(病院)	【再掲】その他	【再掲】療養強化型			【再掲】従来型	【再掲】療養強化型(老健)
回答施設数	290	172	118	572	276	219	57
入院患者・入所者数	16,035	11,564	4,471	34,410	11,567	9,165	2,402
胃ろう・腸ろうによる栄養管理	20.3	22.1	15.7	20.9	12.8	13.8	9.3
経鼻経管栄養	22.9	24.7	18.2	22.0	18.1	18.9	15.0
中心静脈栄養	1.5	1.8	0.9	18.8	11.2	12.8	5.2
カテーテルの管理	14.2	14.2	13.9	23.5	20.9	21.7	18.0
ストーマの管理	1.1	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2	1.5
喀痰吸引	32.0	35.2	23.9	55.9	35.0	36.6	29.1
ネブライザー	1.7	2.0	0.9	5.1	3.6	4.1	1.9
酸素療法	5.4	5.8	4.6	27.0	18.9	20.5	12.5
気管切開のケア	0.9	1.0	0.6	13.0	4.2	4.7	2.3
人工呼吸器の管理	0.0	0.0	0.0	2.6	0.7	0.7	0.5
静脈内注射	12.8	12.9	12.6	21.2	19.7	20.4	17.2
皮下、皮下及び筋肉内注射	1.7	1.5	2.1	4.0	3.6	3.9	2.8
簡易血糖測定	7.4	7.3	7.5	16.7	12.0	12.4	10.3
インスリン注射	3.2	3.3	2.9	9.1	6.5	6.9	4.9
疼痛管理(麻薬なし)	1.7	1.5	2.4	2.7	3.4	2.6	6.6
疼痛管理(麻薬使用)	0.2	0.2	0.2	1.7	1.2	1.4	0.5
創傷処置	9.2	8.9	9.8	12.0	9.3	9.6	8.1
褥瘡処置	4.8	4.5	5.8	11.0	11.0	11.4	9.6
浣腸	25.3	25.0	26.0	24.9	17.7	18.3	15.7
排便	29.3	31.1	24.8	28.8	24.0	23.8	24.4
導尿	1.7	1.9	1.3	2.4	2.4	2.2	3.0
膀胱洗浄	2.8	2.9	2.7	4.6	3.7	3.9	3.0
持続モニター測定	4.1	4.6	3.0	17.8	12.7	14.5	5.9
リハビリテーション	69.3	74.0	57.4	62.5	54.2	49.7	71.6
ターミナルケア	12.9	16.8	2.9	5.7	4.2	4.3	4.0
歯科治療	12.1	14.3	6.4	11.0	5.7	6.4	3.3

介護老人保健施設(全体)	【再掲】在宅強化型	【再掲】加算型	【再掲】従来型	【再掲】療養強化型(老健)	【再掲】療養型(老健)
1278	200	376	634	27	41
99,563	15,124	29,722	51,363	1,363	1,991
5.5	5.8	4.6	4.8	27.7	18.9
1.8	1.2	1.0	1.8	17.2	8.9
0.1	0.1	0.0	0.0	0.7	0.2
4.9	4.8	4.4	4.7	15.8	9.3
0.9	1.1	1.0	0.9	0.7	1.1
5.7	6.3	5.1	4.9	26.1	18.5
0.4	0.9	0.4	0.3	1.0	0.4
1.4	1.8	1.3	1.1	8.5	3.0
0.2	0.1	0.1	0.1	2.1	1.0
0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
4.2	5.3	3.4	3.9	15.5	8.1
0.5	0.4	0.4	0.4	1.5	1.2
7.4	7.5	7.1	7.5	9.0	9.0
2.3	2.7	2.4	2.0	2.9	3.0
2.8	4.0	2.8	2.6	1.2	0.7
0.1	0.1	0.2	0.0	0.7	0.1
7.2	9.3	6.8	6.7	8.5	9.9
3.6	4.1	3.4	3.6	4.7	3.1
8.4	10.6	7.9	7.8	14.2	12.5
9.8	10.3	8.7	9.3	30.2	24.5
0.9	1.1	0.9	0.8	2.3	1.0
0.8	0.5	0.6	0.8	4.5	3.5
0.8	0.8	1.0	0.5	3.7	1.5
78.2	81.5	77.2	77.5	80.7	87.6
1.4	2.5	1.4	1.1	1.8	2.5
13.5	13.8	14.0	13.5	9.1	7.3

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

○検査等の実施割合について、(回答施設以外での実施を含む)

「尿検査」は介護療養病床で15.4%、療養病棟入院基本料1で26.1%、在宅強化型で7.7%、療養型(老健)で9.4%であった。

「血液・生化学検査」は介護療養病床で37.5%、療養病棟入院基本料1で63.3%、在宅強化型で27.2%、療養型(老健)で28.1%であった。

「単純エックス線撮影」は介護療養病床で15.7%、療養病棟入院基本料1で30.2%、在宅強化型で4.2%、療養型(老健)で3.1%であった。

図表22 検査等の実施割合(単位:%)

【病院】

	介護療養 病床		療養病棟入 院基本料1	療養病棟入 院基本料2		
	【再掲】療養 機能強化型 (病院)	【再掲】 その他		【再掲】看 護配置25:1 以上かつ医 療区分2・3 の患者割合 5割以上	【再掲】 その他	
入院患者数・入所者数	293	200	610	210	174	36
尿検査	15.4	13.5	26.1	23.3	21.8	30.6
糞便検査	1.4	1.0	3.6	1.4	1.7	0.0
血液・生化学検査	37.5	33.0	63.3	56.7	56.9	55.6
培養検査	3.4	4.5	10.3	6.7	7.5	2.8
呼吸機能検査	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
心電図検査	7.5	5.5	12.1	9.5	7.5	19.4
超音波検査	0.0	0.0	2.6	1.9	1.7	2.8
脳波検査	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
上部・下部消化管内視鏡検査	0.3	0.5	1.3	0.5	0.6	0.0
気管支鏡検査	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喉頭鏡検査	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0
単純エックス線撮影	15.7	15.5	30.2	24.3	23.6	27.8
透視	0.7	1.0	0.5	0.5	0.6	0.0
CT	7.2	7.5	16.1	10.0	11.5	2.8
MRI	0.3	0.5	0.7	1.4	0.6	5.6
ドレナージ	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
脳室穿刺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
胸腔・腹腔穿刺	0.3	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0
腰椎穿刺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄穿刺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
透析(腹膜灌流を含む)	0.0	0.0	5.2	1.9	2.3	0.0

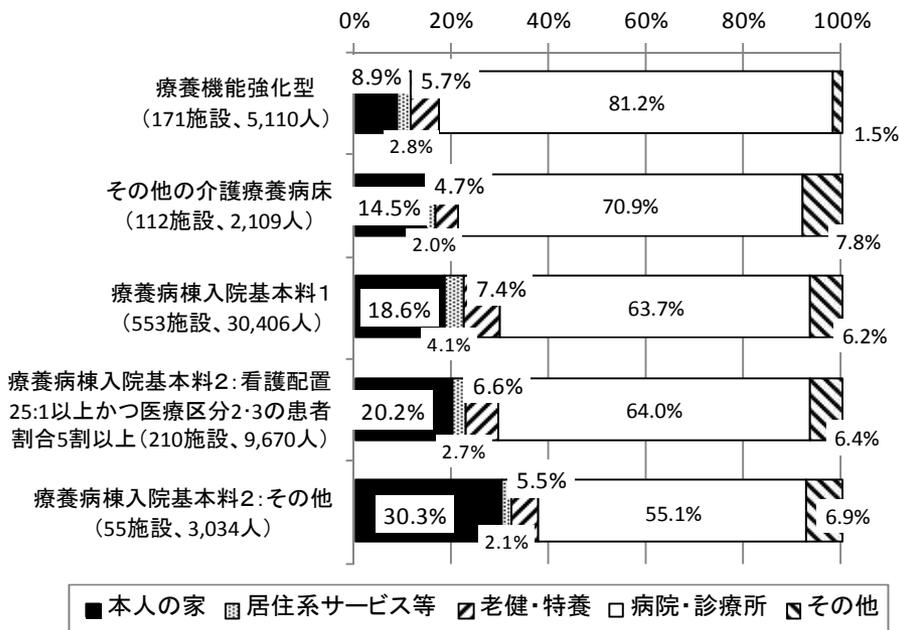
【老健】

介護老人 保健施設 (全体)	【再掲】				
	在宅強化型	加算型	従来型	療養強化型 (老健)	療養型 (老健)
1,624	287	491	789	25	32
6.8	7.7	6.5	6.5	8.0	9.4
0.4	0.0	0.8	0.1	4.0	0.0
22.2	27.2	22.4	20.2	20.0	28.1
0.6	0.3	0.6	0.5	0.0	3.1
0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
3.9	2.8	5.1	3.4	12.0	0.0
0.6	0.3	0.6	0.8	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.2	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5.0	4.2	4.3	5.6	12.0	3.1
0.2	0.3	0.4	0.0	0.0	3.1
2.5	3.1	2.2	2.3	0.0	6.3
0.4	0.7	0.2	0.4	0.0	0.0
0.1	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.6	0.0	0.6	0.9	0.0	0.0

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

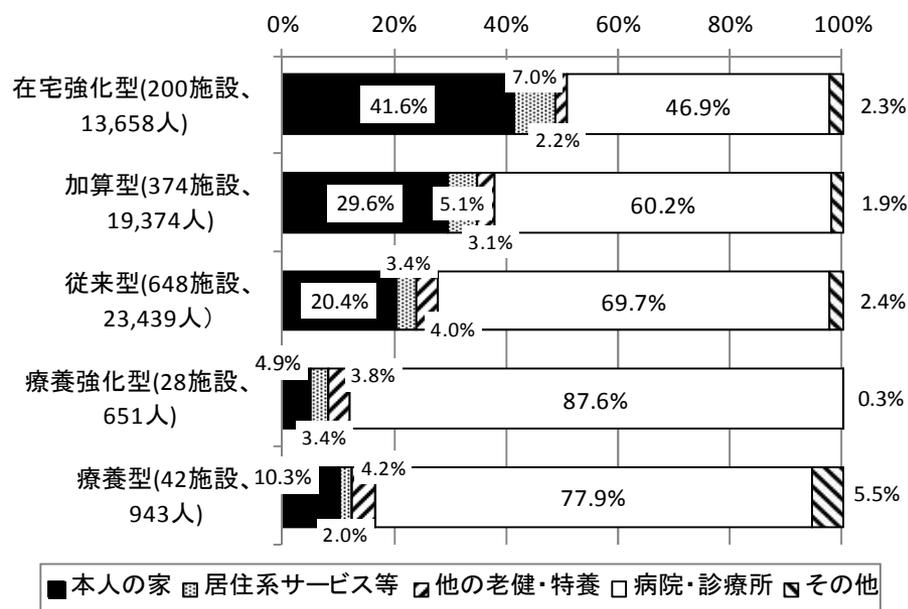
○病院の入院患者の入院前の居場所は、療養機能強化型では「病院・診療所」が81.2%、「本人の家」が8.9%であった。
 その他の介護療養病床では「病院・診療所」が70.9%、「本人の家」が14.5%であった。
 療養病棟入院基本料1では「病院・診療所」が63.7%、「本人の家」が18.6%であった。

図表23 【病院】入院患者の入院前の居場所



○老健の入所者の入所前の居場所は、在宅強化型では「病院・診療所」が46.9%、「本人の家」が41.6%であった。
 従来型では「病院・診療所」が69.7%、「本人の家」が20.4%であった。
 療養強化型では「病院・診療所」が87.6%、「本人の家」が4.9%であった。

図表24 【老健】入所者の入所前の居場所



注)当該調査における用語の取扱い

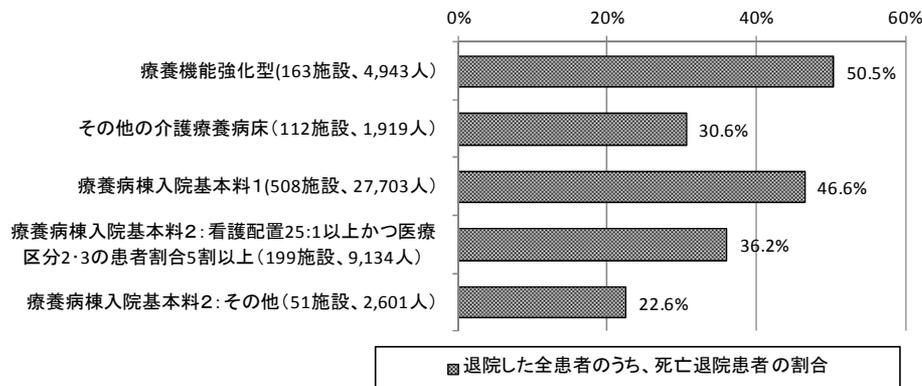
本人の家	兄弟・親戚等や知人・友人の家を含む
居住系サービス等	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(※特定施設入居者生活介護の事業所を含む)

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

6) 病院・老健の入退所の状況

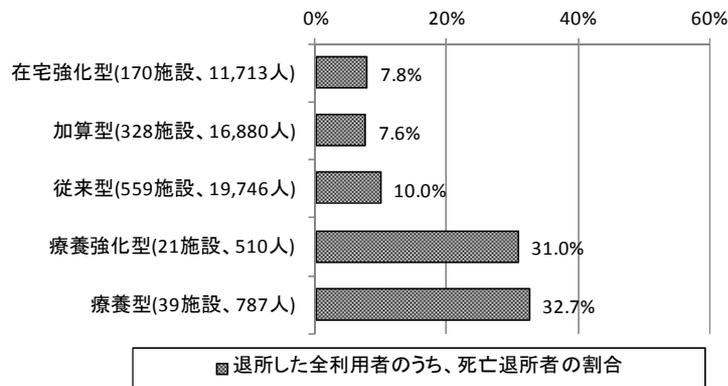
○平成29年1月1日～6月30日の期間に病院を退院した全患者のうち、死亡退院の患者の割合は、療養機能強化型では50.5%、療養病棟入院基本料1では46.6%であった。

図表25 【病院】退院患者のうち、死亡退院患者の割合



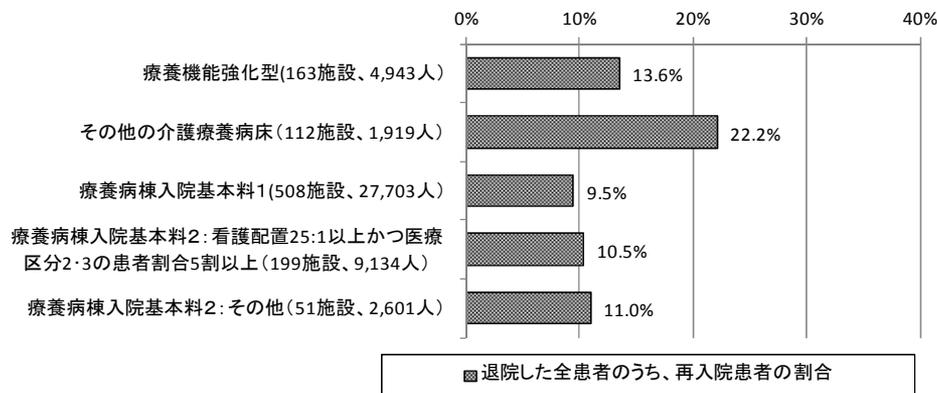
○平成29年1月1日～6月30日の期間に老健を退所した全利用者のうち、死亡退所者の割合は、在宅強化型では7.8%、療養型では32.7%であった。

図表27 【老健】退所者のうち、死亡退所者の割合



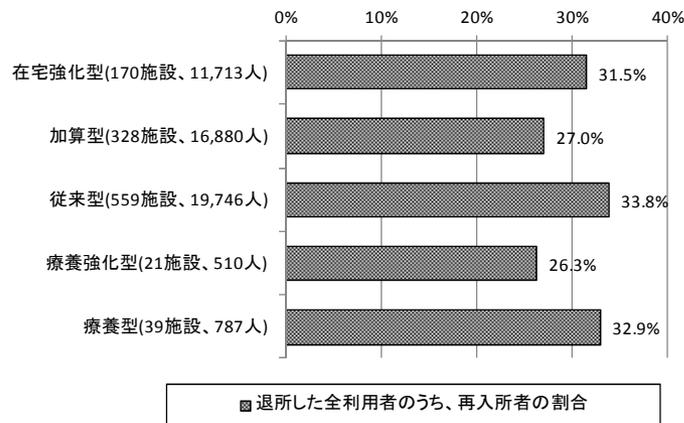
○平成29年1月1日～6月30日の期間に病院を退院した全患者のうち、調査時期までに再入院した患者の割合は、その他の介護療養病床で22.2%、療養機能強化型で13.6%であった。

図表26 【病院】退院患者のうち、再入院患者の割合



○平成29年1月1日～6月30日の期間に老健を退所した全利用者のうち、調査時期までに、再入所した人の割合は、従来型で33.8%であった。

図表28 【老健】退所者のうち、再入所者の割合



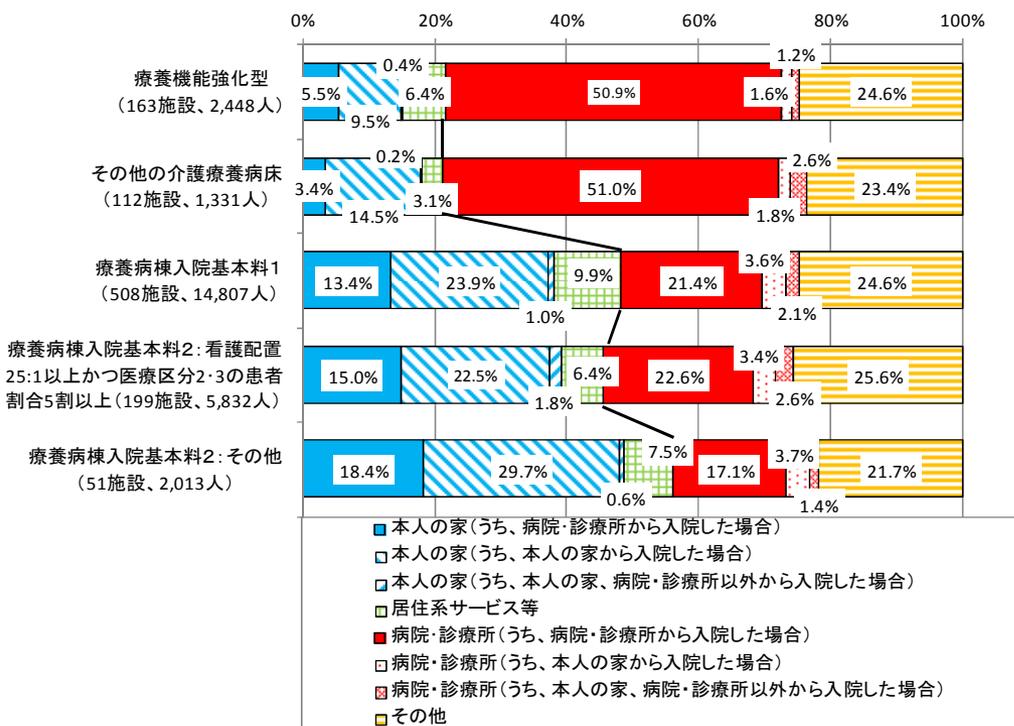
※退院した全患者には、死亡退院した者も含む

※退所した全利用者には、死亡退所した者も含む

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

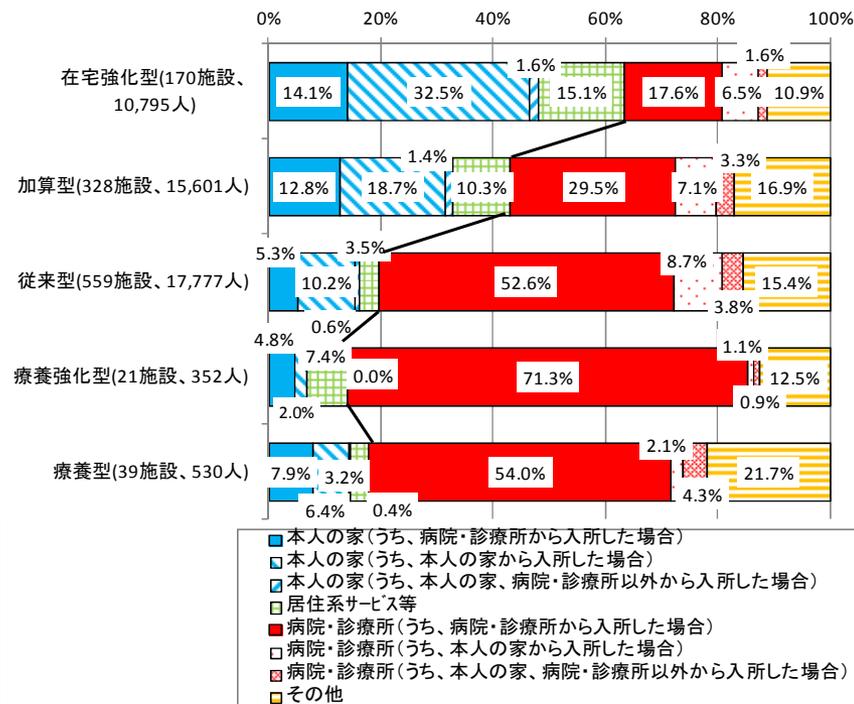
- 病院の退院患者の退院先は、療養機能強化型では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が50.9%、「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が9.5%であった。
- 療養病棟入院基本料1では「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が23.9%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が21.4%であった。

図表29 【病院】退院患者の退院先



- 老健の退所者の退所先は、在宅強化型では「本人の家(うち、本人の家から入所した場合)」が32.5%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入所した場合)」が17.6%であった。
- 従来型では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入所した場合)」が52.6%、「本人の家(うち、本人の家から入所した場合)」が10.2%であった。
- 療養型では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入所した場合)」が54.0%、「本人の家(うち、病院・診療所から入所した場合)」が7.9%であった。

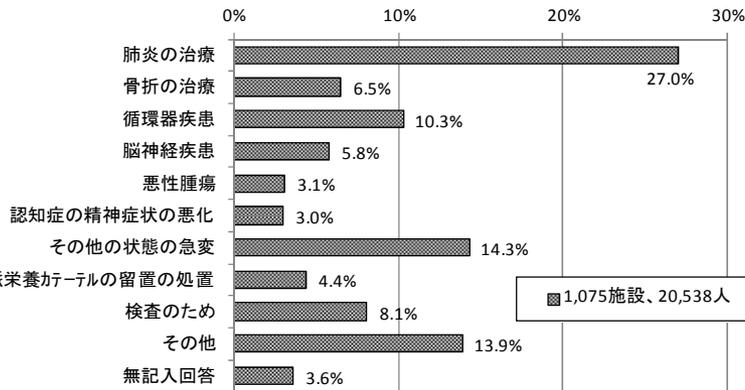
図表30 【老健】退所者の退所先



(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

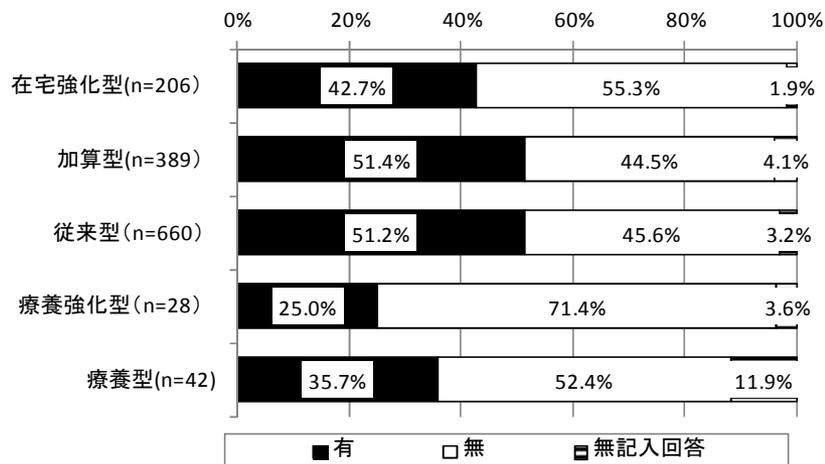
○老健から病院への退所者の入院理由は、「肺炎の治療」が27.0%、「その他の状態の急変」が14.3%、「循環器疾患」が10.3%であった。

図表31 【老健】病院への退所者の入院理由



○老健において、病院・診療所への入院期間が1週間以内の短期入院の後、施設へ再入所した人が「有」の施設は、在宅強化型では42.7%、加算型では51.4%、従来型では51.2%、療養強化型では25.0%、療養型では35.7%であった。

図表32 【老健】病院・診療所への入院期間が1週間以内の短期入院で施設へ再入所した人の有無(平成29年1月～6月)



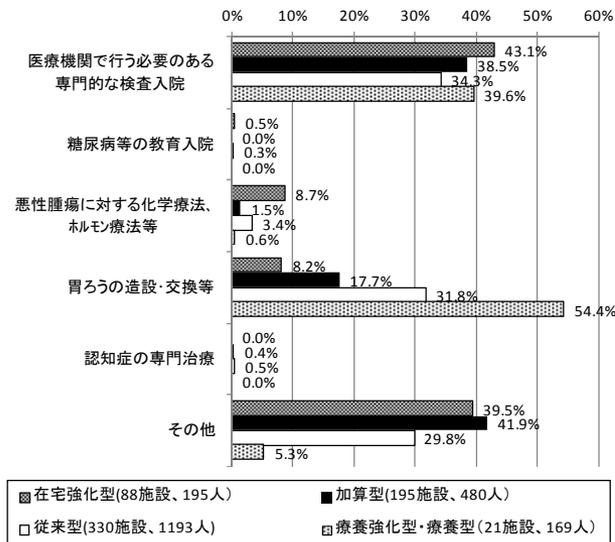
○1週間以内の短期入院の後、施設へ再入所した人が「有」の施設のうち、在宅強化型では、平成29年1月～6月の期間の平均退所者数は72.8人、うち本人の家への平均退所者数が32.1人、病院・診療所への入院による平均退所者数が18.2人、死亡による平均退所者数が5.5人であった。

図表33 【老健：1週間以内の短期入院者がいた施設】1施設あたりの平均入所定員(単位:人)・平均退所者数等(平成29年1月～6月)(延べ人数:単位:人)

施設タイプ	平均入所定員	平均退所者数	平均退所者数の内訳		
			うち、本人の家への平均退所者数	うち、病院・診療所への入院による平均退所者数	うち、死亡による平均退所者数
在宅強化型(n=74)	89.5	72.8	32.1	18.2	5.5
加算型(n=178)	93.4	56.3	16.7	21.9	4.0
従来型(n=292)	93.1	40.7	6.0	25.0	3.4
療養強化型・療養型(n=18)	66.6	33.8	1.7	20.9	6.8

○1週間以内の短期入院となった者について、その入院理由は、在宅強化型では「医療機関で行う必要のある専門的な検査入院」が43.1%であった。

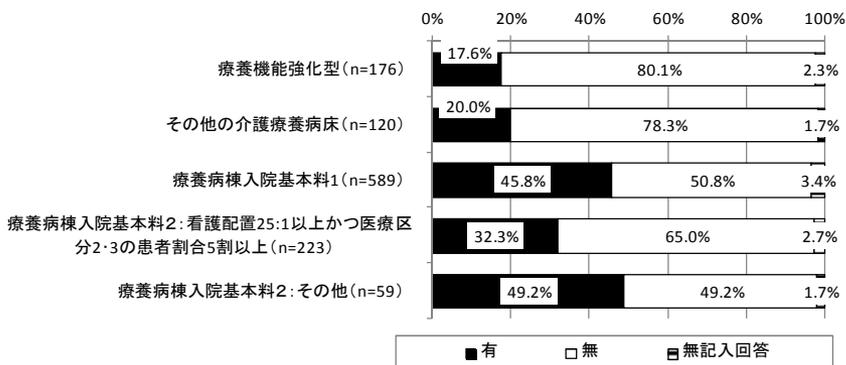
図表34 【老健】病院・診療所への入院期間が1週間以内の短期入院で施設へ再入所した人の入院理由(平成29年1月～6月)(延べ人数)



(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

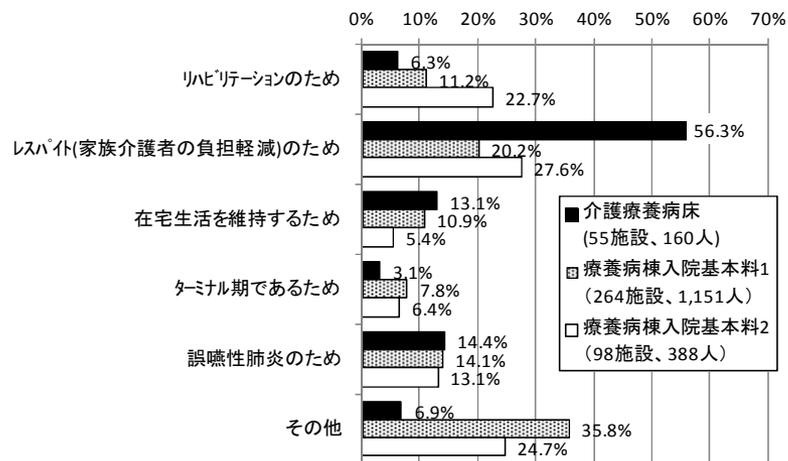
○病院の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者が「有」の施設は、療養機能強化型では17.6%、療養病棟入院基本料1では45.8%であった。

図表35 【病院】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の有無



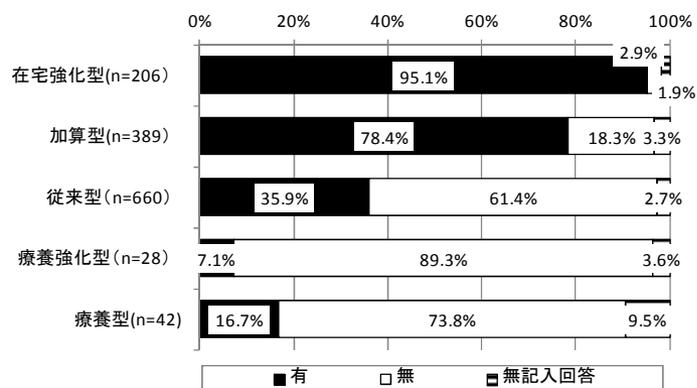
○病院の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由は、介護療養病床では「レスパイトのため」が56.3%、療養病棟入院基本料1では「レスパイトのため」が20.2%、療養病棟入院基本料2では「レスパイトのため」が27.6%であった。

図表36 【病院】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由別分布



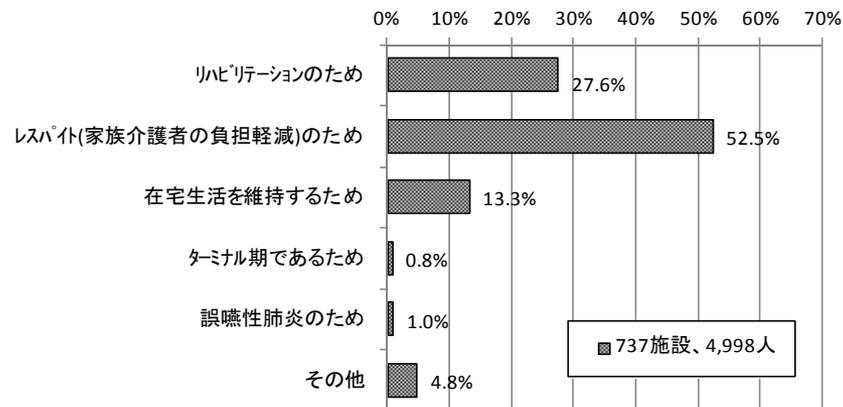
○老健の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者が「有」の施設は、在宅強化型では95.1%、加算型では78.4%、従来型では35.9%、療養強化型では7.1%、療養型では16.7%であった。

図表37 【老健】平成29年1月～6月の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者の有無



○老健の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者の理由は、「レスパイトのため」が52.5%、「リハビリテーションのため」が27.6%、「在宅生活を維持するため」が13.3%であった。

図表38 【老健】平成29年1月～6月の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者の理由別分布



(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

7) 入院患者・入所者の基本情報(タイムスタディ対象者)

○入院患者の年齢は、療養機能強化型で、平均85.1歳であった。
 要介護度は、療養機能強化型で「要介護5」が55.0%、療養病棟入院基本料1では「申請中、未申請、非該当」が33.9%であった。
 医療区分は、療養機能強化型では「医療区分1」が57.0%、療養病棟入院基本料1では「医療区分2」が55.6%であった。

○入所者の年齢は、在宅強化型で、平均85.1歳であった。
 要介護度は、在宅強化型で、「要介護4」が26.5%であった。
 認知症高齢者の日常生活自立度は、在宅強化型で「Ⅱb」が25.1%であった。

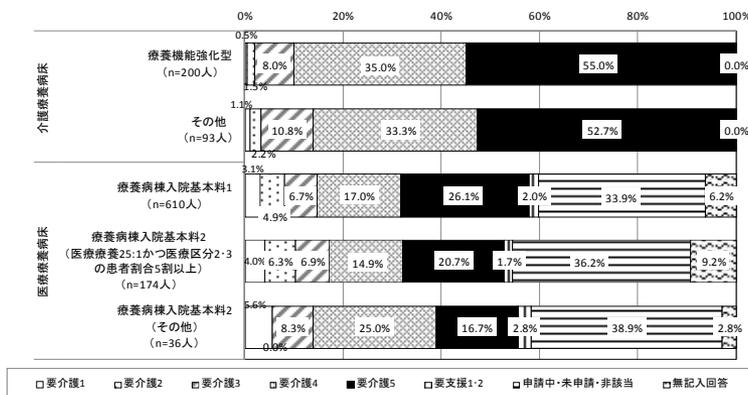
図表39 【病院】年齢 単位: 歳

	n	平均	標準偏差	中央値
療養機能強化型	200	85.1	8.5	86.0
その他の介護療養病床	93	83.9	9.6	85.0
療養病棟入院基本料1	609	81.0	11.4	83.0
療養病棟入院基本料2(医療療養25:1かつ医療区分2・3の患者割合5割以上)	174	82.3	10.6	84.0
療養病棟入院基本料2(その他)	36	84.0	7.7	85.5

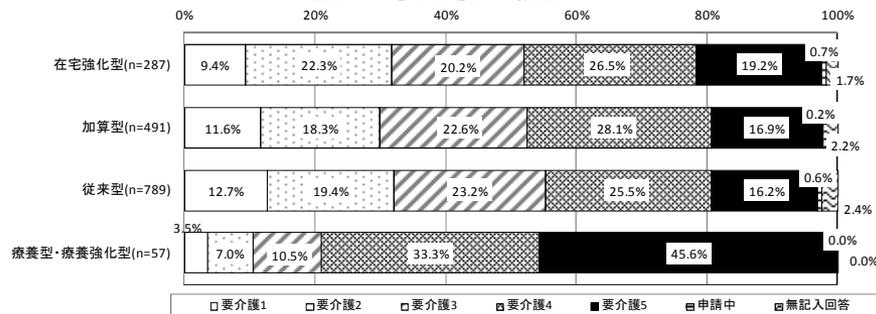
図表42 【老健】年齢 単位: 歳

	n	平均	標準偏差	中央値
在宅強化型	285	85.1	8.2	86.0
加算型	490	85.5	8.4	86.0
従来型	788	85.7	8.6	87.0
療養型・療養強化型	57	85.8	8.6	88.0

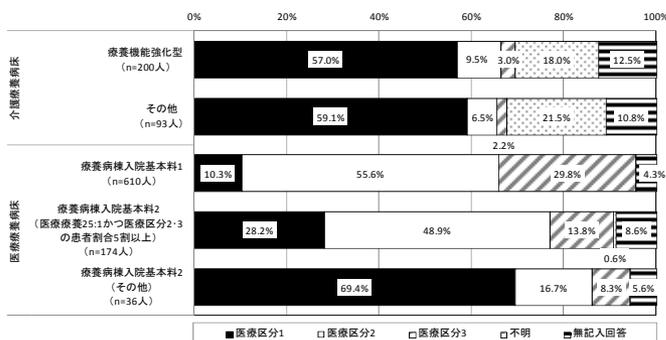
図表40 【病院】要介護度



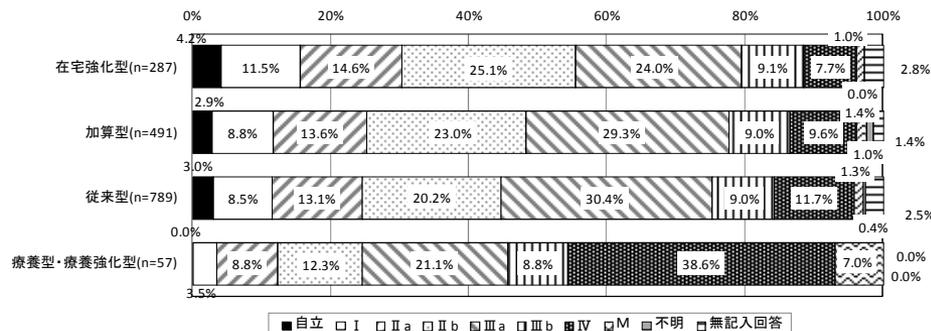
図表43 【老健】要介護度



図表41 【病院】医療区分



図表44 【老健】認知症高齢者の日常生活自立度



いずれも、入院患者全体の傾向と同様であり、対象者の代表性は担保された。

いずれも、入所者全体の傾向と同様であり、対象者の代表性は担保された。

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

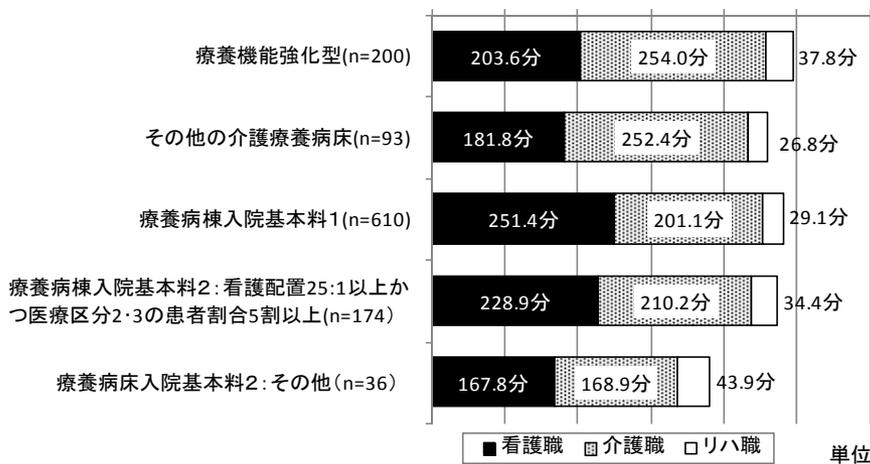
8) 病院の入院患者・老健の入所者へ提供されているケアの状況

○病院の入院患者へ提供されている直接的なケア時間(1日あたり)は、療養機能強化型では「看護職」が平均203.6分(41.1%)、「介護職」が平均254.0分(51.3%)、「リハ職」が平均37.8分(7.6%)であった。療養病棟入院基本料1では「看護職」が平均251.4分(52.2%)、「介護職」が平均201.1分(41.8%)、「リハ職」が平均29.1分(6.0%)であった。

○老健の入所者へ提供されている直接的なケア時間(1日あたり)は、在宅強化型では「看護職」が平均78.1分(20.2%)、「介護職」が平均260.3分(67.2%)、「リハ職」が平均48.8分(12.6%)であった。従来型では「看護職」が85.0分(21.6%)、「介護職」が平均267.7分(67.9%)、「リハ職」が平均41.7分(10.6%)であった。

図表45 【病院】病床種類・職種別 直接的なケア時間・割合(患者1人、1日あたり)

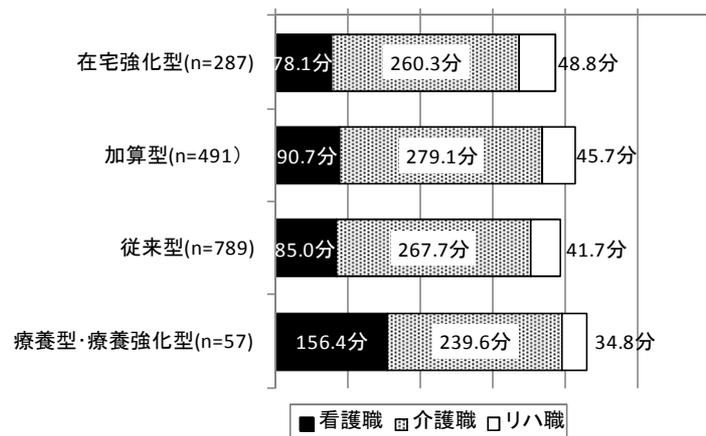
0分 100分 200分 300分 400分 500分 600分



■看護職 □介護職 □リハ職 単位:分

図表46 【老健】施設種類・職種別 直接的なケア時間・割合(入所者1人、1日あたり)

0分 100分 200分 300分 400分 500分 600分



■看護職 □介護職 □リハ職 単位:分

	n	看護職		介護職		リハ職		合計	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
療養機能強化型	200	203.6	110.2	254.0	146.1	37.8	46.6	495.4	212.4
(構成割合)		41.1%		51.3%		7.6%		100.0%	
その他の介護療養病床	93	181.8	134.9	252.4	161.4	26.8	41.3	461.1	225.7
(構成割合)		39.4%		54.7%		5.8%		100.0%	
療養病棟入院基本料1	610	251.4	140.3	201.1	127.2	29.1	48.1	481.5	207.7
(構成割合)		52.2%		41.8%		6.0%		100.0%	
療養病棟入院基本料2: 看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	174	228.9	172.8	210.2	146.0	34.4	45.5	473.4	272.0
(構成割合)		48.4%		44.4%		7.3%		100.0%	
療養病棟入院基本料2: その他	36	167.8	121.0	168.9	122.9	43.9	55.9	380.6	217.2
(構成割合)		44.1%		44.4%		11.5%		100.0%	

	n	看護職		介護職		リハ職		合計	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
在宅強化型	287	78.1	75.9	260.3	162.8	48.8	44.2	387.3	201.6
(構成割合)		20.2%		67.2%		12.6%		100.0%	
加算型	491	90.7	94.1	279.1	185.3	45.7	41.6	415.5	236.0
(構成割合)		21.8%		67.2%		11.0%		100.0%	
従来型	789	85.0	81.7	267.7	181.1	41.7	41.9	394.3	213.6
(構成割合)		21.6%		67.9%		10.6%		100.0%	
療養型・療養強化型	57	156.4	85.2	239.6	154.5	34.8	34.3	430.9	182.3
(構成割合)		36.3%		55.6%		8.1%		100.0%	

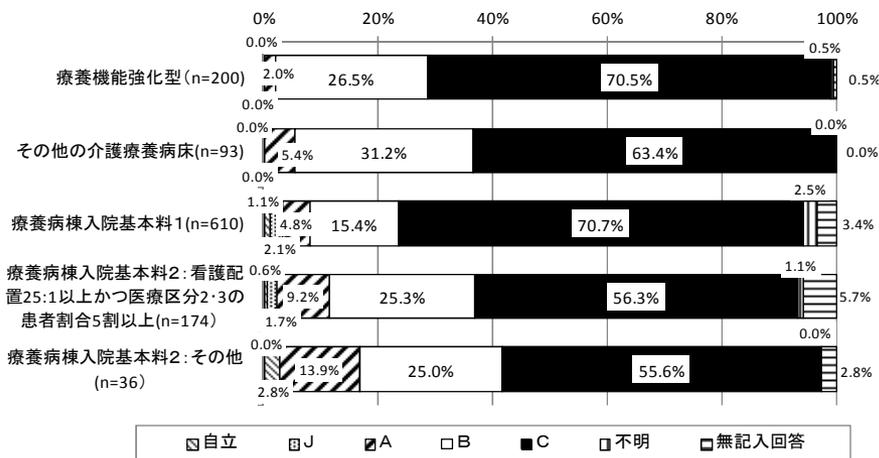
注1)看護職が実施した直接的なケアとは「観察・話しかけ」「バイタルチェック」「医療処置等」「療養上の世話」「環境整備・寝具交換」「小集団アクティビティ」「本人・家族への説明」「診察介助」「その他」である。介護職が実施した直接的なケアとは、「観察・話しかけ」「医療的ケア」「身体介護等」「環境整備・寝具交換」「機能訓練」「小集団アクティビティ」「本人・家族への説明」「その他」である。リハ職が実施した直接的なケアとは、「観察・話しかけ」「リハビリテーション」「身体介護等」「環境整備・寝具交換」「小集団アクティビティ」「本人・家族への説明」「その他」である。

注2) タイムスタディは5分ごとの間隔の記録用紙を用いて、ケアごとに実施の有無、実施した職員数を計上した。集計にあたっては、実施ありは5分として計算、人数とかけあわせ延べ時間数として表記した。(このため例えば実際は、1分未満の実施時間であっても5分とみなしている点に注意が必要である。)

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

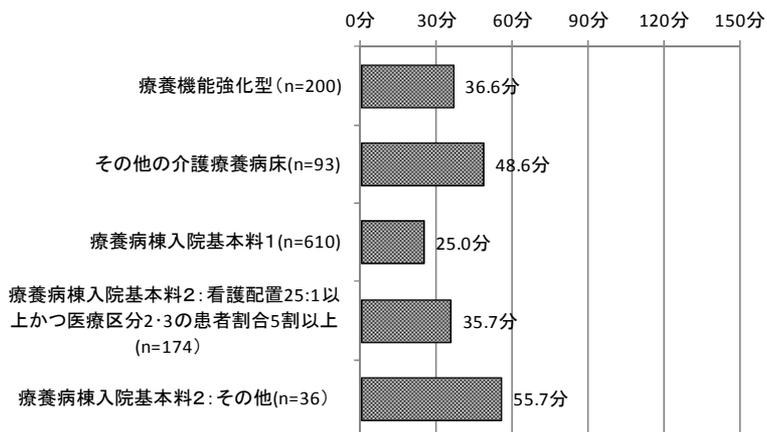
○病院の入院患者の障害高齢者の日常生活自立度は、療養機能強化型では「C」(寝たきり、終日ベッド上)が70.5%であった。療養病棟入院基本料1では「C」が70.7%であった。

図表47 【病院】障害高齢者の日常生活自立度



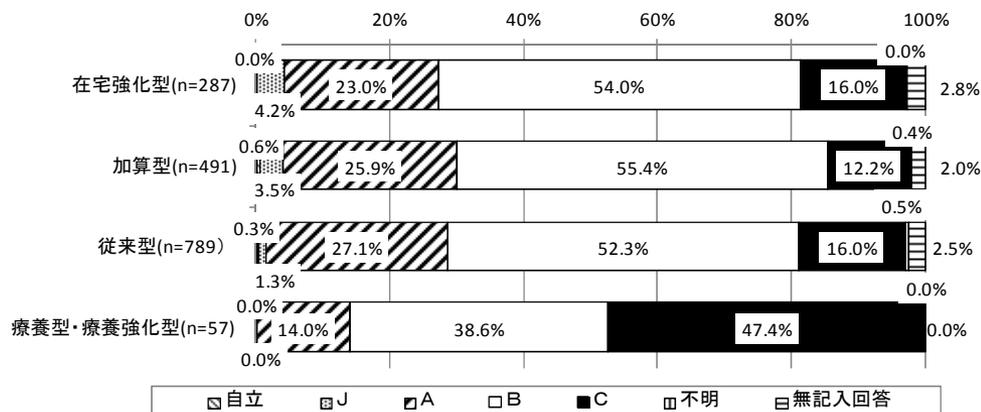
○病院の入院患者がベッド上以外でケアを受けた時間は、療養機能強化型では平均36.6分であった。療養病棟入院基本料1では平均25.0分であった。

図表48 【病院】ベッド上以外でケアを受けた時間(1日のうち)



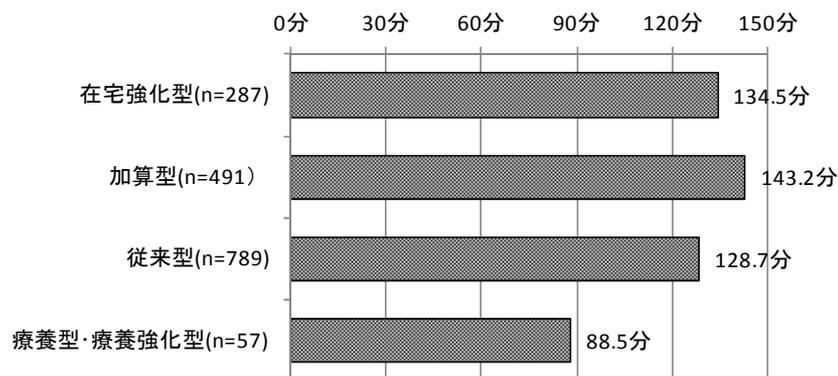
○老健の入所者の障害高齢者の日常生活自立度は、在宅強化型では「B」(寝たきり、座位保持可能)が54.0%であった。従来型では「B」が52.3%であった。

図表49 【老健】障害高齢者の日常生活自立度



○老健の入所者がベッド上以外でケアを受けた時間は、在宅強化型では、平均134.5分であった。従来型では平均128.7分であった。

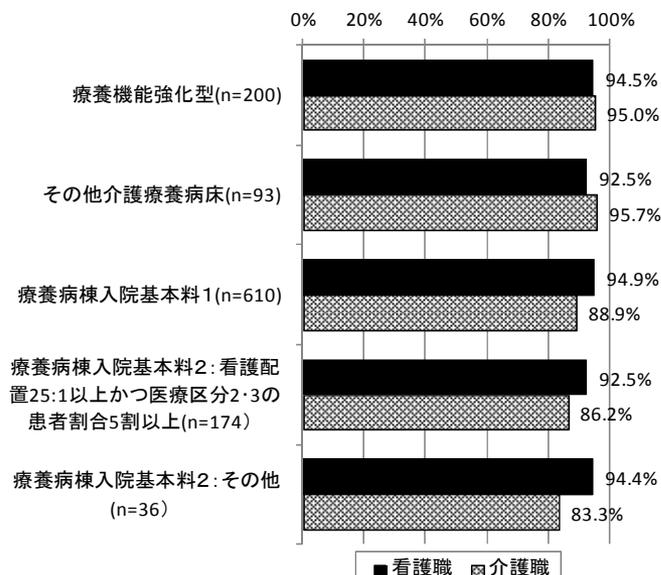
図表50 【老健】ベッド上以外でケアを受けた時間(1日のうち)



(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

○病院の入院患者のうち、夜間(22時～6時)に直接的なケアを提供された者の割合・1人あたりの平均時間は、療養機能強化型では「看護職」によるケアが94.5%、平均44.0分、「介護職」によるケアが95.0%、平均49.7分であった。療養病棟入院基本料1では「看護職」が94.9%、平均59.9分、「介護職」が88.9%、平均46.0分であった。

図表51 【病院】タイムスタディ対象者のうち、夜間(22時～6時の8時間)に直接的なケアを提供された者の割合



図表52 【病院】夜間に直接的なケアを提供された場合：1人あたりの平均提供時間(22時～6時の8時間中)

単位:分

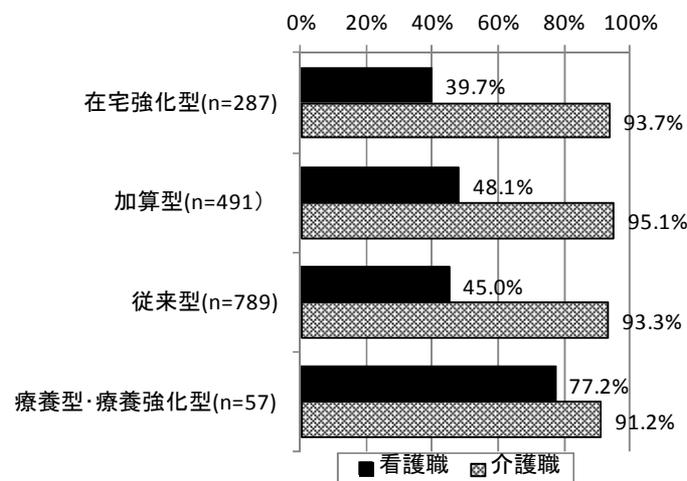
	看護職			介護職		
	対象者	平均	標準偏差	対象者	平均	標準偏差
療養機能強化型	189	44.0	28.3	190	49.7	33.6
その他の介護療養病床	86	38.2	31.2	89	46.1	31.2
療養病棟入院基本料1	579	59.9	40.0	542	46.0	30.7
療養病棟入院基本料2:看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	161	53.4	48.2	150	50.9	38.9
療養病棟入院基本料2:その他	34	32.5	31.3	30	30.8	23.6

注) 平均時間の算出にあたって、0分(実施していない)の場合は除外した。

注) 夜間のリハ職のケア実施は、病院では0件、老健では1件だったため、表には記載していない。

○老健の入所者のうち、夜間(22時～6時)に直接的なケアを提供された者の割合・1人あたりの平均時間は、在宅強化型では「看護職」によるケアが39.7%、平均20.2分、「介護職」によるケアが93.7%、平均46.6分であった。従来型では「看護職」が45.0%、平均27.8分、「介護職」が93.3%、平均49.1分であった。

図表53 【老健】タイムスタディ対象者のうち、夜間(22時～6時の8時間)に直接的なケアを提供された者の割合



図表54 【老健】夜間に直接的なケアを提供された場合：1人あたりの平均提供時間(22時～6時の8時間中)

単位:分

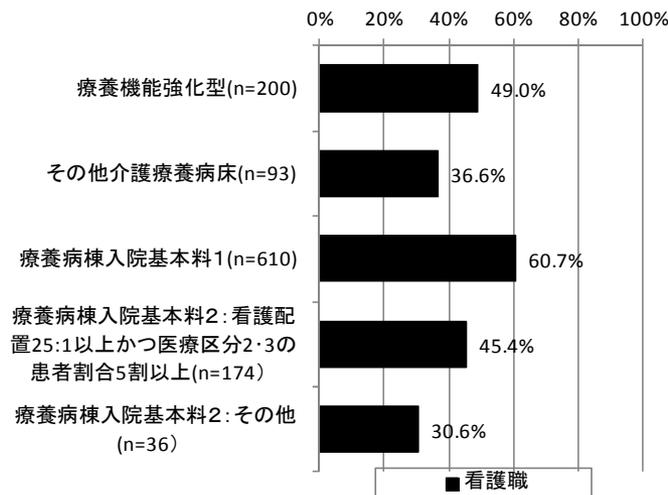
	看護職			介護職		
	対象者	平均	標準偏差	対象者	平均	標準偏差
在宅強化型	114	20.2	19.5	269	46.6	30.0
加算型	236	25.6	27.7	467	51.7	39.6
従来型	355	27.8	25.7	736	49.1	36.6
療養型・療養強化型	44	36.8	22.2	52	44.6	32.6

注) 平均時間の算出にあたって、0分(実施していない)の場合は除外した。

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

○病院の入院患者のうち、夜間(22時～6時)に看護職により医療処置等を提供された者の割合・1人あたりの平均時間は、療養機能強化型では49.0%、平均15.1分であった。療養病棟入院基本料1では60.7%、平均29.4分であった。

図表55 【病院】タイムスタディ対象者のうち、夜間(22時～6時の8時間)に医療処置等を提供された者の割合



図表56 【病院】夜間に医療処置等を提供された場合: 1人あたりの平均提供時間(22時～6時の8時間中)

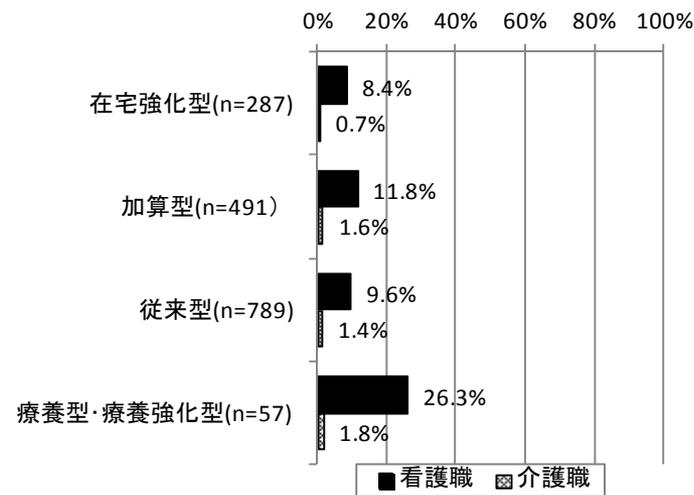
単位:分

	看護職		
	対象者	平均	標準偏差
療養機能強化型	98	15.1	11.5
その他の介護療養病床	34	13.2	8.2
療養病棟入院基本料1	370	29.4	22.8
療養病棟入院基本料2:看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	79	24.3	23.7
療養病棟入院基本料2:その他	11	12.7	7.2

注)平均時間の算出にあたって、0分(実施していない)の場合は除外した。

○老健の入所者のうち、夜間(22時～6時)に看護職により医療処置等を提供された者の割合・1人あたりの平均時間は、在宅強化型では8.4%、平均13.3分であった。

図表57 【老健】タイムスタディ対象者のうち、夜間(22時～6時の8時間)に医療処置等又は医療的ケアを提供された者の割合



図表58 【老健】夜間に医療処置等又は医療的ケアを提供された場合: 1人あたりの平均提供時間(22時～6時の8時間中)

単位:分

	看護職			介護職		
	対象者	平均	標準偏差	対象者	平均	標準偏差
在宅強化型	24	13.3	12.5	2	5.0	-
加算型	58	11.7	12.2	8	9.4	9.0
従来型	76	11.7	12.3	11	10.0	5.0
療養型・療養強化型	15	17.0	11.5	1	10.0	-

注)平均時間の算出にあたって、0分(実施していない)の場合は除外した。

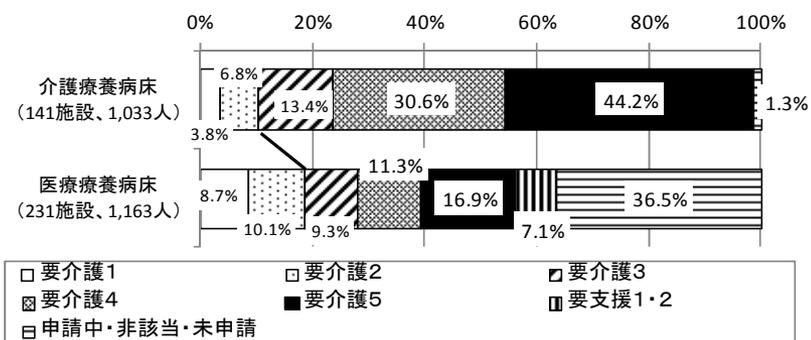
注)看護職が実施した医療処置等は「投薬」「検査」「皮膚のケア」「気道のケア」「経管栄養」「排泄ケア」「その他」である。介護職が実施した医療的ケアとは「喀痰吸引」「経管栄養(胃瘻)」「医療処置に伴う体位保持・手伝い」である。

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

9) 診療所の調査結果

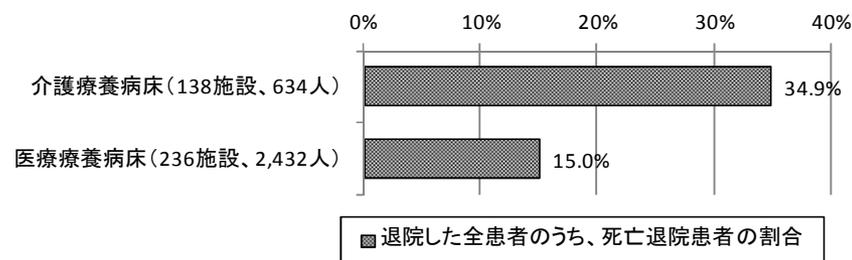
- 要介護度は、
介護療養病床では「要介護5」が44.2%、「要介護4」が30.6%、「要介護3」が13.4%であった。
医療療養病床では「申請中・非該当・未申請」が36.5%、「要介護5」が16.9%、「要介護4」が11.3%であった。

図表59 【診療所】要介護度



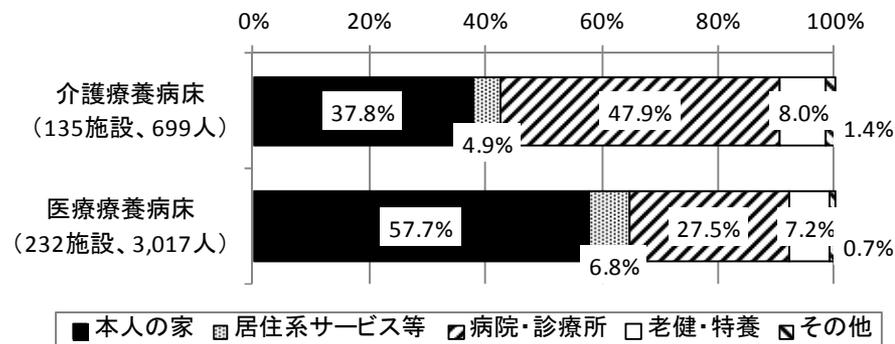
- 平成29年1月1日～6月30日の期間に退院した全患者のうち、死亡退院患者の割合は、介護療養病床では34.9%、医療療養病床では15.0%であった。

図表61 【診療所】退院患者のうち、死亡退院患者の割合



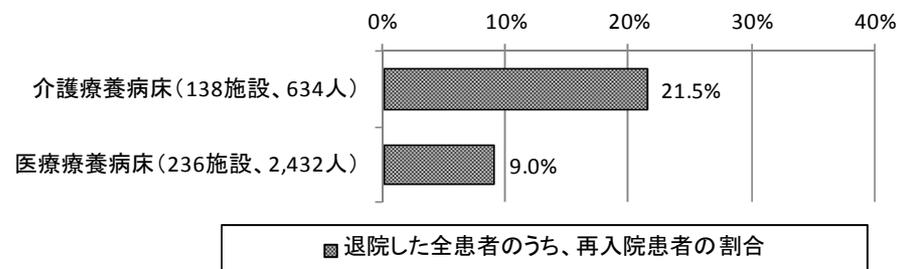
- 入院患者の入院前の居場所は、
介護療養病床では「病院・診療所」が47.9%、「本人の家」が37.8%であった。
医療療養病床では「本人の家」が57.7%、「病院・診療所」が27.5%であった。

図表60 【診療所】入院前の居場所



- 平成29年1月1日～6月30日の期間に退院した全患者のうち、再入院患者の割合は、介護療養病床では21.5%、医療療養病床では9.0%であった。

図表62 【診療所】再入院患者の割合



※退院した全患者には、死亡退院した者も含む。

(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

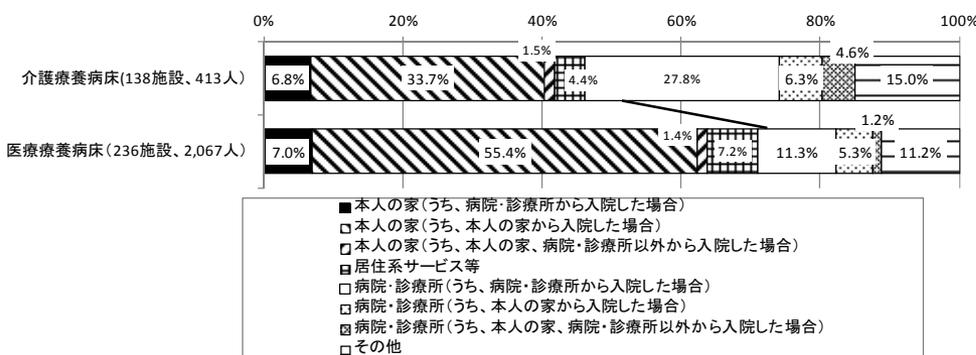
○処置等の実施割合は、介護療養病床では「リハビリテーション」が33.7%、「排便」が31.0%、「喀痰吸引」が22.9%であった。医療療養病床では「リハビリテーション」が33.4%、「静脈内注射」が24.7%、「排便」が23.1%であった。

図表63【診療所】処置等の実施割合(単位:%)

	介護療養 病床	医療療養 病床			
回答施設数	136	208			
入所者数	1,065	1,464			
胃ろう・腸ろうによる栄養管理	15.0	11.1	インスリン注射	2.1	4.0
経鼻経管栄養	12.8	9.6	疼痛管理(麻薬なし)	2.3	5.5
中心静脈栄養	1.8	3.2	疼痛管理(麻薬使用)	0.0	0.7
カテーテルの管理	18.1	12.1	創傷処置	6.0	9.6
ストーマの管理	1.2	0.6	褥瘡処置	11.9	8.6
喀痰吸引	22.9	18.4	浣腸	12.6	11.3
ネブライザー	3.8	2.3	排便	31.0	23.1
酸素療法	4.2	8.4	導尿	2.1	2.5
気管切開のケア	0.7	1.2	膀胱洗浄	8.8	5.7
人工呼吸器の管理	0.2	0.5	持続モニター測定	4.2	7.3
静脈内注射	18.8	24.7	リハビリテーション	33.7	33.4
皮内、皮下及び筋肉内注射	3.4	7.3	ターミナルケア	2.8	1.6
簡易血糖測定	6.4	9.0	歯科治療	3.5	5.8

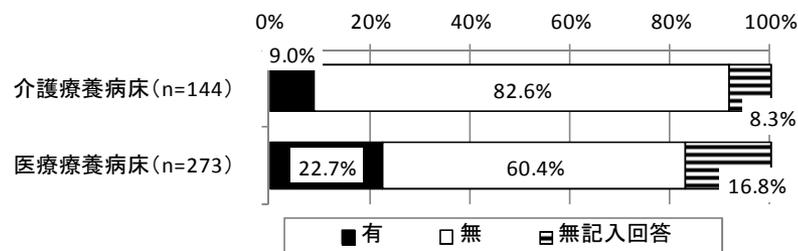
○退院患者の退院先は、介護療養病床では「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が33.7%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が27.8%であった。医療療養病床では、「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が55.4%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が11.3%であった。

図表64【診療所】退院患者の退院先



○退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者は、介護療養病床では「有」が9.0%、医療療養病床では22.7%であった。

図表65【診療所】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の有無



○退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由は、介護療養病床では「レスパイトのため」が67.6%、「在宅生活を維持するため」が13.5%であった。医療療養病床では「レスパイトのため」が17.9%、「在宅生活を維持するため」が15.0%であった。

図表66【診療所】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由別分布

